※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	論理国語	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「論理国語」　（第一学習社）						
副教材等	「新訂版　最新国語便覧」（浜島書店） 「大学入試　国語頻出問題　1200 四訂版」　（いいずな書店） 「熟語を音訓から学ぶ　新版　品詞別　頻出漢字マスター3000」（尚文出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

論理国語は、２、３年生の２年間を通して学習する科目である。
教科書の内容について、次の教材に進む前に本文を読み、内容を理解しておく等の予習をしておくことが望ましい。また、文章中の重用語句は授業前に自発的に調べるなどし、語彙力の向上のために必要な習慣を自ら身につけるよう努めるようにすること。

2　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深めて言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	比喻を用いた叙述を理解する ［教材］ 「自他の『間あい』」 鷲田清一	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：内容や論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c：粘り強く本文の構成と各段落の関係を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	具体例から筆者の主張を理解する ［教材］ 「『私』中心の日本語」 森田良行	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：具体例と主張との関係を整理して論理構成を把握し、筆者が主張する日本語の特徴を理解する。 c：具体例と主張との関係を粘り強く整理しながら本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿ってまとめようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	対比から筆者の意図を理解する ［教材］ 「日本人の『自然』」 木村敏	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：根拠や論拠を批判的に検討し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する。 c：粘り強く本文中から根拠を引きながら、筆者問題意識や執筆意図をまとめ、表現の仕方を工夫して説明しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	主張に説得力を持たせる論展開を理解する ［教材］ 「手の変幻」 清岡卓行	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：筆者の感性や着眼点、表現の特徴について整理し、主張に説得力を持たせるための論展開について考える。 c：粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って用紙をまとめようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
二学期	推論の方法を理解し、活用する ［教材］ 論理分析【推論】 「推論とは何か」 仲島ひとみ	a：推論のしかたについて理解し、活用する方法を学ぶ。 b［ 読 ］：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検証し、文章の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈する方法を学ぶ。 c：推論の種類の違いを把握し、それぞれの事例について積極的に考え、その妥当性を検討しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	レポートの作成方法を理解・実践し、評価する ［教材］ 「構成を考えてレポートを書く」 「書いたレポートを評価・分析して修正する」	a：文や文章の効果的な組み立て方や接続のしかたについて理解を深める。 b［ 書 ］：文章の構成や展開、表現のしかたなどについて、自分の考えが的確に伝わるように工夫する方法を学ぶ。 c：情報を整理し、アウトラインを作ってレポートを書くというレポートの作成手順を粘り強く理解しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート	行動の観察 発言 ワークシート	行動の観察 発言 ワークシート リフレクションシート

※令和４年度以降入学生用

	論の構造を読み取り、主張を理解する ［教材］ 「働かないアリに意義がある」 長谷川英祐	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：アリの生態の紹介から人間社会の問題点へと展開する論の構造を読み取り、筆者の主張を理解する。 c：積極的に筆者の主張をふまえ、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	課題を文脈から把握し、問題意識を持つ ［教材］ 「生体認証技術の発展と未来」 高野麻子	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：生体認証技術のもつ課題を文脈から把握し、それが現代社会に投げかける意味について考えを深める。 c：粘り強く本文の構成と論理の展開を捉え、学習課題に沿って説明しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
三学期	情報の分析に基づく論理展開と、対比構造を理解する ［教材］ 「コミュニティ空間としての都市」 広井良典	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 読 ］：内容や構成、論理の展開を的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握する。 c：粘り強く本文中で提示される調査結果と筆者の意見との関係を捉え、積極的に説明しようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート
	文章を読み比べ、内容を解釈し比較する ［教材］ 「対話の意味」 細川英雄 「身体的表現の関係性」 野村雅一	a：情報と情報との関係について理解を深め、情報を階層化して整理する。 b［ 書 ］：コミュニケーションをテーマとした文章を読み比べ、書き手の立場や目的を考えながら内容を解釈し、両者を比較しながら考えをまとめる。 c：コミュニケーションというテーマで書かれた複数の文章から読み取った情報を粘り強く吟味し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	行動の観察 発言 ワークシート 小テスト 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート 定期考査	行動の観察 発言 ワークシート ノート リフレクションシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準［ｂ］について…括弧内には［　話／聞、書、読　］のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　４０　）時間